

Press Release

令和 6 (2024) 年 5 月 9 日

需要が高まる「廃食油」の有効活用を海南市で実現**ENEOS 株式会社及びサントリーホールディングス株式会社と****「海南市におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定」を締結します。**

海南市は、令和 6 年 5 月 17 日 (金) 午後 2 時より、海南市役所 4 階 会議室 4A にて、ENEOS 株式会社及びサントリーホールディングス株式会社と「海南市におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定」を締結します。和歌山県、和歌山市、有田市とともに SAF の原料となる廃食油回収の実証的な取り組みを進める一環として締結するもので、本協定により、一般家庭で調理に使用された廃食油から持続可能な航空燃料 (SAF^{※1}) を製造、SAF 製造の過程で同時に得られるバイオナフサ^{※2} からバイオペットボトルを製造するほか、使用済みペットボトルの水平リサイクルなど、廃棄物を出さずに資源を循環させるサーキュラーエコノミー (循環型経済) を実現します。本協定式には、海南市長、ENEOS 株式会社 和歌山製造所 所長、サントリーホールディングス株式会社 サステナビリティ経営推進本部 副本部長が出席します。

石油由来からの脱却

石油由来製品の焼却等で排出される二酸化炭素による地球温暖化への影響が深刻化する中、欧米をはじめ、世界各国でサーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルへの取り組みが積極的に進んでいます。航空機の二酸化炭素排出量が人類由来の排出量の 2~3% を占める背景があり、化石由来ではない SAF が、多くの二酸化炭素の排出量を削減するための手段として注目されています。

日本では 2030 年までに国内の航空会社が使用する航空機の燃料のうち 10% を SAF に置き換えることが目標とされており、SAF の国産化が大きな課題となる中、現在、SAF の製造技術の確立や普及に向けた技術開発や実証実験などが進んでいます。

本市の循環型社会と脱炭素社会の実現に向けた取り組み

今回の協定締結によるサーキュラーエコノミーの取り組みをきっかけとして、サーキュラーエコノミーの取り組みへの市民の機運を醸成します。このほか、市では、令和 4 年度に改定した海南市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電の整備や照明の LED 化、電動車の導入など、温室効果ガス削減に取り組むとともに、市民の協力を得ながら、ゴミの減量化をはじめ、リサイクルの推進や二酸化炭素排出量の削減など、循環型社会と脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めています。今回の取り組みに関しましても、市民の参加や理解を深めるため、ぜひ多くの方々に知っていただきたく、「海南市におけるサーキュラーエコノミーの実現に関する包括連携協定」締結をご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※1 SAF とは・・・廃食油などを原料とした航空燃料です。従来の燃料より CO2 排出量が大幅に削減できるということで注目されています。ここ数年、日本の廃食油はこの「SAF」の製造のために海外からの需要が高まっていて、それに伴い国内市場の価格も 2021 年の約 3 倍になっています。

※2 バイオナフサとは・・・再生可能なバイオマス (植物など生物由来の有機性資源) から生成された石油由来ナフサ相当の炭化水素 (炭素原子と水素原子からなる化合物) です。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南市くらし部環境課 (担当: 村田)
〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11
TEL: 073-483-8457 FAX: 073-483-8444
E-mail: kankyo@city.kainan.lg.jp

リリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課
〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11
TEL: 073-483-8408 FAX: 073-482-0099
E-mail: cp@city.kainan.lg.jp